

かみ

議会だより

平成28年
12月定例会
第48号



えがおの
穫り入れ

(青葉保育園)

— CONTENTS —

- | | |
|----------------------|-----|
| ■ 新年のあいさつ（議長） | 2 |
| ■ 一般会計補正 2億4035万円の増額 | 3 |
| ■ 町政を問う（12人が一般質問） | 4～9 |
| ■ 追跡、あの質問どうなった？ | 11 |
| ■ この人ここにあり | 14 |

一般質問

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月15日と16日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



役目が終わった？ かすみ丸

山陰海岸ジオパークの中核を担ってきたかすみ丸は、67年の営業を終え



寺川 秀志 議員

遊覧船の就航の映像を後世に残せ 民間事業者の記録保存に関与できません

た。今後の議論の中に、香住海岸を就航している遊覧船をガイドの姿も含めた映像に残し、後世につなげたらどうか。町がどうかとか、個人の営業だからと言うが、真剣にこの状況を思っているか疑問に思う。こういう時代があった

町長 香住海岸のすばらしさを海上から案内する手段がなくなった現段階では香住海岸の紹介方法は映像等に頼らざるを

ことを後世に歴史遺産として残し、海の文化館等で上映するとか、柔軟に考えるべきだ。

得ないですが、民間事業者の記録保存のために町が記録映像を制作するとは、異論をもつ方もおられると考えます。町が関与すると、さまざまな分野で同じことが懸念されるので、事業者を主役にした映像を町が制作したり、事業者の方が作成される費用を助成する考えは、ありません。



4年間の評価は？



西坂 秀美 議員

町政運営を、どう評価しているか 公約を少しずつ着実に実現しました

ここで今日まで、町長の公約に掲げた思い描く町政運営ができたのか、自身の評価を問う。ここまでを評価し2期目をめざして立候補するのかどうかを問う。

町長 町長就任以来、町民目線の町政運営を念頭に、産業・観光の振興、町内の活性化、新分野への取り組み、医療・福祉の充実、防災の強化、交

通の確保、教育の充実の重点施策の公約に果敢に挑戦し、少しずつですが着実に実現してきました。評価は議員の皆様や町民の皆様に、ご判断をお願い致します。町民の皆様のご理解がいただければ引き続き町政を担当させていただきます。



明日… 君が主役だ!!



子どもたちに夢と未来を「柴山保育所」



見塚 修 議員

第1期浜上町政を終えようとしている今、財政も健全化されたと考える。

まちづくりは人づくり。施策は!!
夢と未来をつなぐ町づくり策を講じます

- まちづくりは人づくりと考えるがその施策として
- ① 町民の公民館使用料を無料化しては。
 - ② 表彰規定（スポーツ芸術など）の見直しは。
 - ③ 幼・保の保育料の無料化（軽減）をしては。
 - ④ 図書館（室）の充実。
 - ⑤ 山の日の取り組みは。
 - ⑥ 社会教育施設の早急な耐震化は。
 - ⑦ 職員の視察研修を。以上伺う。

- 町長 子どもたちに夢と未来をつなぐ町の実現を推進させる施策と考え、
- ① 町民の皆様の意見を伺い、今検討中です。
 - ② 年度内に見直し、来年度から実施します。
 - ③ 保育料の軽減の可能性を検討中です。
 - ④ 町民ニーズを把握し、蔵書・図書活動の充実に取り組みます。
 - ⑤ 公民館などが側面的に支援します。
 - ⑥ 優先度に応じて耐震化対策を講じます。
 - ⑦ 来年度から実施します。

育英資金を新設してはどうか

国・他市町の動向を注視します



藤井 昌彦 議員

うなことがあつてはならない。大学、短大、専門学校などの香美町出身生に無利子の育英資金を貸与し、卒業後に町に帰ってくれば全額免除する制度を考えてはどうか

総合計画に「こどもたち」に夢と未来をつなぐまち」とあり、子どもたちは次代を担う主役になりうる大切な存在である。決して経済的理由により、尊い夢や志の芽を摘むよ

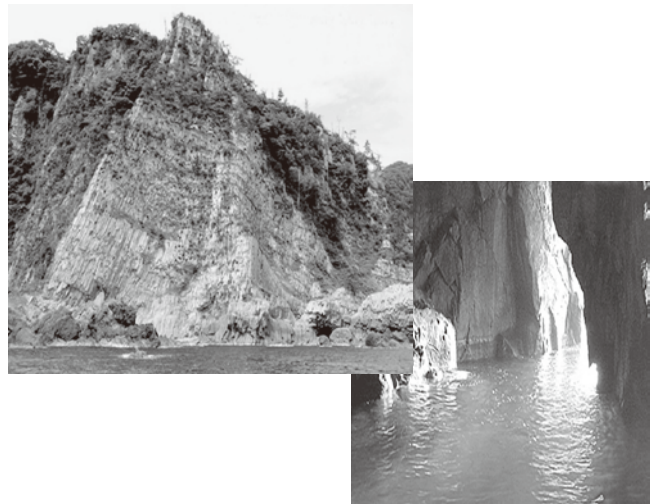
町長 国は、厳しい経済状況下の学生にも進学を促すために、2018年から低所得者の大学生に月額3万円程度の支給を本格導入します。

他市町では、日本学生支援機構の奨学金などの返済免除する方法、新たな助成制度を創設する方法、養父市のように、Uターン後8年を経過すれば、奨学金自体を免除するなどの助成制度などさまざまな方法があります。

若者のUターンや定住を促進させるひとつの有効手段として、今後、国、他市町の動きを注視し、調査、研究に努めます。



平成元年から加工場排水を処理している共同排水処理場



ジオパークの名勝スポットが見られなくなる？

香住海岸エリアの遊覧船就航は 事業継承者探しへの側面支援をします



徳田喜代子 議員

山陰海岸ジオパークが
世界再認定され2年が経
過した。2年後の更新に

向け、香美町の課題と今
後の取り組みについて次
のとおり町長の所見を問
う。

①再認定を受けた際の評
価と課題②香美エリアの
取り組みと今後の展開③
香住海岸エリアの遊覧船
就航の展望

町長 ①ガイド育成部
門で各事業への住民の積
極的参加が評価され、課
題は、地質学的知識を身
に著けたガイド育成、世
界ジオパークの一員とし
て外国人観光客の受入体
制などを挙げられました。
②観光客受け入れのため
カヤック指導者の育成や

ガイドスキルアップ講習
を実施。現在、英語版
ホームページや鳥取との
広域的連携で英語版表記
の看板を共同作業で進め
ています。③遊覧船事業
はジオパーク活動推進の
ためにも継続検討すべき
課題で、第三者機関を通
じて、新しく手を挙げて
いただけるような事業継
承者を探すための取り組
みを側面から支援します。

東港区域の下水道整備は反対!! 下水道区域なので整備します



森 利秋 議員

①東港区域の水産加工
排水は共同の処理場で処
理、県・町の施設は合併
浄化槽で処理し、ほとん
どが処理されている。東
港区域を下水道整備する
には約20億円必要で町民

の理解が得られないと
言ってきた。下水道会計
単独で考えると破綻状態
である。採算は取れるの
か。②加工団地の加工排
水を下水道で処理すると
運転経費は790万円が
2690万円と約3.4倍に
下水に入れる前処理施設
(除外施設)については
事業者負担との説明で、
これも莫大な費用が必要
で事業者には死活問題で
ある。下水道に反対する。

町長 ①27年度は借金
残高148億円、町民の
使用料3億5200万円、
利息は2億9500万円、
収益的収支の一般会計繰
入金7億3300万円
です。東港の収支は今後
策定します。②東港は下
水道区域なので整備しま
す。除外施設については
流入の濃度やどういった
処理方法がベストなのか
把握は致しておりません。



通学する生徒（香住第一中学校）



橘 秀太郎 議員

少子化が進む中、子どもたちの安全確保・教育の推進は本町の重要課題

冬期スクールバスの柔軟な運用を!! 基準による運行のため困難です

と考える。一部の地区では空席があるにもかかわらず冬期スクールバスに乗りできない生徒もおり、柔軟な運用が求められている。また、小学校での連絡網の遅れなど改善すべき点もあり、図書館やドローンの活用などこれから整備すべきものもある。

町長 教育は人格形成の基礎を培う上で重要な役割を担っていることを踏まえ、豊かな心・健全な体を育む教育を推進しています。冬期スクールバスは、運用基準に基づ

いて運行しているため、現状では難しいと考えます。連絡網システム導入については、小規模校も含めて再度検討します。図書館については、必要性は理解していますが、他施設のあり方も含め検討をしているところです。ドローンの観光分野以外での活用も有効性を判断したうえで検討します。



矢田川の命の水と自然の汚染は許されない



谷口 眞治 議員

安全担保ない処理水の矢田川放流の中止を再び求める!! 影響が及ばないと担保できれば、今のやり方で十分です

有害なばいじんを埋立ている最終処分場の管理は万全でなければならぬ。年1回の検査で基準が守られているといっても安全は担保できない。9月議会に引き続き最終

処分場の安全対策について町長に問う。
①北但からの焼却灰受け入れによる維持管理計画の変更は②処分場の遮断シートの劣化対策は③浸出水の検査強化は④処理施設の改修は⑤改めて住民合意のない処理水の矢田川放流の中止を求める。

県に確認します。②劣化遮断シートは検討します。③浸出水の水質検査は強化します。④汚泥処理施設は改修中です。⑤説明不足を認め、香住、柴山地区自治会長に説明し、広報でも周知しました。多くの不安の声が上がっています。住民生活に影響が及ばないと担保できれば、今のやり方で十分です。豊岡市の下水道接続は承知しています。



働きやすい職場環境を

環境改善について伺う。医師・職員が働くための環



西谷 尚 議員

充実した施設・職場環境を望む 兎塚歯科診療所施設増設は検討中です

境況はどうなっているのか。具体的には、①食堂・休憩スペース。②医師が研究を行ったり、地域医療の取り組みなどを考える所長室などこれらの部屋が確保されているのか。新たな所長室でしっかり仕事をしていただくことを希望する。ま

町長 ①食堂・休憩室などは研修室で対応しています。

②診療所内部の限られたスペースに所長室を設けることは、困難だと考えます。現在、外に所長室を増設する考えで検討しています。環境の改善も考えますが、本来なら患者からの要望が第一です。歯科医師の能力を最大限引き上げられるような政策と歯科診療所運営に取り組みます。



公共交通をしっかりと守ろう

県行革、最終2カ年プランが示され、老人医療費助成事業の廃止、老人クラブ活動強化推進事業、バス対策などの県補助を減らす、などの施策が見える。これらが実施



山本 賢司 議員

町と町民負担増の県行革許さない 現行維持を求め、町でカバーします

町長 11月24日に説明があり、現行制度の維持を求めています。老人医療費助成の廃止、高齢期移行助成創設で、対象者

が80人から40人に減り170万円が町民負担と見込まれます。多くの意見で、現行対象者は70才まで継続とされました。老人クラブへの補助は、8千円減額で88クラブあります。バス対策では、市町を越える4路線で850万円の減、これは特別交付税を充てるとされており、不確実なので一般財源を充てることになります。

になれば、町と町民の負担はどう増えるか。町として県にどう意見を上げたのか。バス対策は、当初から特別交付税を財源にするなど、財政規律のないものにしようとしている。



凶悪犯以上に怖い？熊

駆除に対し町・県は手当などで推進しているが、適正数に対して十分ではない。近年非常に増加している。①鹿・猪は狩猟期間以外は1万3千円の手当があるのに、期間中



岸本 正人 議員

は鹿5千円だけである。猪にも期間中の手当をだすべきだ。②熊の駆除実績は県全体で4頭のみであった。そこでア但馬でも講習会を実施する。①1か月の期間を延ばす。②誤捕獲の駆除を検討する(香美町で37頭)。町長は以上3点を県へ強く提言すべきだ。

町長 ①狩猟期間は本来有害捕獲でなく狩猟を

行う期間です。有害捕獲だけでは猪被害が減らないということであれば手当も必要かと思いますが、町の対応には限度があります。効果的な対策を含め、一度検討します。②熊の駆除が進まない原因について、県との会合の機会に問題提起させていただきます。また、熊の駆除についても町としてどのような協力ができるか検討します。

有害鳥獣対策のさらなる推進を!! さまざまな問題を含め検討します

町長 ①民間事業者に

よる再生可能エネルギー事業について経済性を総合的に判断していきます。②現段階で町が主体的となる具体的な取り組みはありません。③現在取り組んでいる事業の他にさまざまな角度から検討してまいります。民間との連携については、

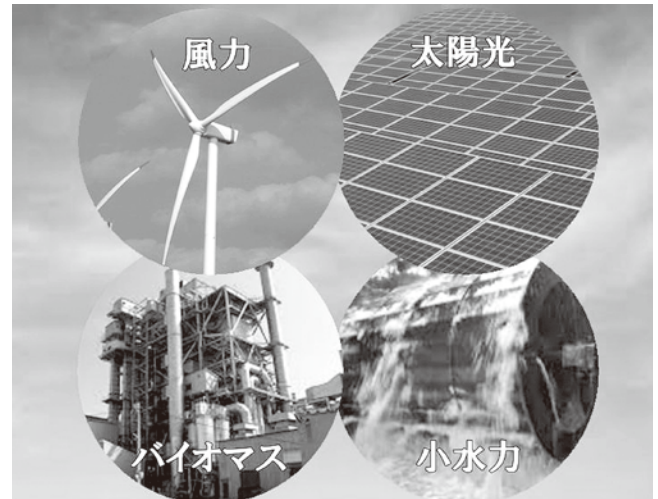
民間活力が生かされる形であれば側面から協力したいと考えます。④事業実施に係る許可申請など、側面的な協力を考えています。⑤過疎債などは町が実施主体となることが基本です。経済性など総合的に考慮し、判断します。

①再生可能エネルギー活用に対する基本姿勢は、②町単独または民間との



田野 公大 議員

再生可能エネルギー事業への支援は 総合的な判断で側面から協力します



地域資源を活用する再生可能エネルギーに期待

議案の審議結果 ※賛否が分れた議案のみ掲載しています。

議 案 名			議 員 名														
			見塚修	森利秋	山森昭夫	藤井昌彦	上田勝幸	谷口眞治	西谷尚	西坂秀美	橘秀太郎	西川誠一	岸本正人	田野公大	寺川秀志	山本賢司	徳田喜代子
12月定例会	議案第97号	香美町職員の分限及び懲戒に関する手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	議案第102号	香美町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第103号	平成２８年度香美町一般会計補正予算（第３号）修正案	×	○	欠	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	—
	議案第103号	平成２８年度香美町一般会計補正予算（第３号）	○	×	欠	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

その他こんな質問もしました

12月定例会では、次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び香美町環境センター条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

お詫びと訂正

前号（第47号）の記事に誤りがありましたので、お詫びし次のとおり訂正します。

○一般質問

11ページの山本議員の質問に対する答弁者が「教育長」とありますが、正しくは「町長」です。

質問議員	質 問 項 目
寺 川 秀 志	1. 香美町山手土地区画整理事業について 2. 香美町災害ボランティアセンターの設置・運営について
見 塚 修	平成29年度予算編成に向けて町に活力と安心・安全を取り戻すための具体的施策について伺う（Part14） 1. 活力編 2. 安心・安全編
徳 田 喜 代 子	1. 子育て支援の充実に向けて
森 利 秋	1. 香美町ふるさと納税について問う
谷 口 眞 治	1. 「連携中枢都市圏」めざす「麒麟のまち圏域連携事業」について町長の所信を問う
山 本 賢 司	1. 国保の県単位化は国保増税への道 2. 社会保障の負担増と給付減は住民生活を危うくするもの 3. 部落差別の解消推進法案は差別の掘り起こしを町に求めるもの
西 谷 尚	1. 町づくり・地域づくりについて問う 2. 新規産業の取組について問う
岸 本 正 人	1. 町嘱託職員（常勤・非常勤）、臨時職員等の待遇について

追跡 あの質問はどうなった？

平成26年12月定例会での質問を追跡



山手土地区画整理組合事業

補助金（造成事業分）

1億5千万円の結果はどうなった？



平成29年 1 月現在の状況は次のとおりです



- ①換地処分（土地登記を含む）に必要な工事は平成26・27年度で完了し、平成28年度最終測量を実施しています。しかし、換地計画作成業務につきましては、一部組合員の方のご理解が得られず、山手事業組合の事業計画及び予算が承認されていません。
- ②換地計画作成業務が承認されていないため、土地登記の目途が立っていません。土地登記ができるようになると、すでに保留地を購入されている方の権利保護につながるとともに、土地の商品価値が上がりますので、今後の保留地販売促進につながります。引き続き粘り強く説明をし、解決を図っていただきたいと思います。
- ③保留地（分譲地）は117区画中73区画が未処分となっています。
- ④山手保留地には、行政が取り組む建物の計画は現在ありません。

香美町の移住・定住施策の今後は

総務民生常任委員会

委員長 橘 秀太郎

平成28年度より、香美町は移住・定住施策の一環として、空き家バンク制度を開始し、地元NPOと連携するなど、新たな取り組みを開始しました。しかし、香美町の移住・定住施策は、まだ始まったばかりで、他の先進地の事例を通じて香美町でどのようなことができるのか、また、しなければならぬのかの議論がまだまだ必要です。

香美町の人口対策は？

香美町の総合戦略にも



移住・定住策について榎本岩美町長自ら説明を受ける

掲げられているように、加速する人口減少社会において、香美町への新しいひとの流れをつくることは、将来を見据えた時に重要課題となつてきます。そこで県との連携を通じて民間や自治体独自の先進的な取り組みをしている鳥取県岩美町、島根県海士町を視察してきました。

早い段階での危機感と施策展開

鳥取県岩美町は、ある雑誌の2016年版住みたい田舎ベストランキングにおいて朝来市と並んで総合1位となりました。その理由として、2010年という早い段階から移住・定住施策に取り組んできたこと、県との連携が密であることが挙げられます。そのため、施策のひとつひとつがきめ

細やかで、他市町にはない独自の施策が多くありました。

官民学連携で

島根県海士町では、行政改革により、行政も含めた島全体が『株式会社』という考えのもと、人づくり、モノづくりに励んでおり、その結果、交流人口の増加となり、若者の移住者増につながっていました。

視察研修を終えて

視察研修を終えて、委員会ではまとめとして次のように報告しました。
移住・定住施策は、町内の移住者を受け入れる地域も含めて、細やかで大胆な施策が必要である。また、行政と民間との連携もより活発化させ、香美町独自の施策展開が必要である。全ての根幹は教育であり、人づくりに関してもより一層注力することにより、今後の仕組みづくりに真摯に取り組んでいただきたいと考えます。

地方創世は全身全霊の取り組みを

産業建設文教常任委員会

委員長 西川 誠一

地方創生は平成26年安倍政権で掲げられた。東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした政策です。それ以降地方創生が各



海士町での取り組みを説明する吉元総務課長（写真左）

地で叫ばれ、各自治体は必至で取り組んでいます。その中でも、それ以前から離島からの挑戦として「最後尾から最先端」をめざしている島根県海士町を視察しました。

「島が消える」という危機感が島を変えた

海士町では戦後7千人いた人口が60年間で3分の1にまで減少し、このままでは島がなくなるという危機感から積極的な施策を行っていました。まず、過去に例のない行政改革を行いました。町長自ら報酬を半分にし、職員、議員も追随し、町民までもが自ら補助金や日当などの減額を行い、その削減額で子育て支援をしました。身を削らない改革は支持されないという信念があったようです。

一点突破型 産業振興策

次に取り組んだのが「島まるごとブランド化」でした。役場の産業機能を本庁から切り離して三課を一個所に設置し、攻めの戦略に出ました。島のブランド「さざえカレー」「いわがき・春香」「海士乃塩」「隠岐牛」などをC A SシステムやICTを活用し島の特産品を売り出しました。それ以降、販売高や雇用者が着実に増加に転じたようです。まさに、産業振興策で島の存続ができたこととでした。

視察研修を終えて

視察した海士町は官民や地域が一体となりハンディキャップをアドバンテージに転換し成功した自治体でした。まちおこしに成功している自治体には、全身全霊で取り組む首長の存在があるというところを当局にまとめとして報告しました。

「議会だよりの更なる充実」をめざして!!

広報公聴常任委員会

委員長 藤井 昌彦

今年度は、議会だよりの充実と公聴の更なる展開を図るべく、広報誌全国コンクールで優秀な成績を収めた鳥取県大山町と広島県神石高原町を視察先として選びました。

鳥取県大山町

町村議会広報全国コンクール平成26年度最優秀賞第2位。平成27年度最優秀賞第3位と全国表彰されている。

議会広報づくり

主なポイントは次の通りです。
○インパクトがあり、読んでみたくなる紙面にすること。
○中学生・高齢者にもわかりやすくする。
○むずかしい用語には解説をいれる。
○会議録、活動報告では

なく情報誌にする。

公聴

広報委員が各種団体と懇談会を開催している。

まとめ

何よりも視察の中で「議員になるために議員になったのではなく、町をよくするために議員になった。賞を取るための議会便りではない、町民にわかりやすい議会広報をめざしている。」という委員長の言葉は、まさに、常に町民目線を第一に考えている基本理念とお聞きし、大変参考になりました。

広島県神石高原町

町村議会広報全国コンクール平成25年度奨励賞受賞

議会広報づくり

主なポイントは次の通

りです。
○「早く・正確に読みやすく」を目標に
○町民に親しまれ、読みやすい誌面づくり
○写真や小見出しなどで読者の関心を呼び、読む気をおこさせる工夫
○内容や記事が臨場感ある紙面づくり。

公聴

クイズで読者をひきつけ住民参加を呼びかけていることなどは新鮮でユニークでした。

まとめ

議会の審議状況や活動の実態について、ひとりでも多くの町民に読んで

もらうことを広報理念とされている。

視察研修を終えて

当委員会では、全国コンクール上位入賞先を視察先として選択しましたが、両町とも共通している点は、町民目線で分かりやすく、広く読んでもらうという基本方針、基本理念がしっかりと決まっていることでした。そして決して、最終目標は、コンクール受賞ではなく、議会と町民とがより身近に分かり合えることではないのかということを感じた視察研修でした。



研修のようす（鳥取県大山町）

この人について (香住区)



山崎 つる みさん

表の山崎つるみさんにお話をうかがいました。

「ぼっぽクラブ」の由来

余部鉄橋を走る列車のように元気な余部っ子に育ってほしい願いを込めています。

活動のきっかけは

平成13年頃に余部地区



活動のようす



クリスマス会



みんなでポーズ!!

婦人会が地域の若いお母さんたちが集まって交流する場として始めた活動を婦人会解散後の平成17年から引継いでいます。

どんな活動をしていますか

7人の地域の協力者のメンバーが、余部地区公民館を会場に、月1回から2回程度、子育て中のお母さん7人と乳幼児10人を対象に「各季節に合わせた行事やあそび」と「手作りおやつ」の指導を中心にした取り組みを

しています。

その中でも、12月のクリスマス会と3月のお別れ会を兼ねた「小さな音楽会」には、特に力を入れています。

天気が良い日には、近くの「空の駅」の公園に出かけたり、毎月、余部幼稚園に出かけて交流を図っています。幼稚園の先生から「入園後やりやすい」と歓迎の声が寄せられています。3月の「小さな音楽会」には「いいこの広場ほっとあまるべ」の高齢者を招き、

幼稚園児のゲスト出演もあり、高齢者から乳幼児とのふれあいを喜んでいただきました。

やってきてよかったこと

公民館や地域にお世話になりながら、たくさんの地域のみなさんと知り合いになりました。

議会にひとこと

若いお母さん方が安心して子育てできる環境を進めていただくことを願っています。

編集後記

新年を迎え、町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

われわれ広報委員は「身近な議会」や「みなさまに読んで頂ける広報誌」をめざして、傍聴者へのアンケートや、先進他町への視察などを行ってきました。香美町においては総合戦略が策定されて早一年が過ぎました。地域創生は行政、議会、町民が一緒になって取り組まなければならない大きな課題です。本年も町民のみなさまと議会の架け橋役として、一生懸命取り組んでまいりますのでよろしく願います。

広報公聴常任委員会

委員長 藤井 昌彦
副委員長 徳田喜代子
委員 上田 勝幸
谷口 眞治
西谷 尚
岸本 正人
田野 公大

(工)